



ゆりのき



No.24 2025 年 11 月 14 日発行

JWU 子育てサイエンス・ラボが発行するニュースレター「ゆりのき」は子育てにまつわる様々なトピックやお気軽に参加できる「子育てサイエンス・カフェ」のご案内を掲載しています。以前の「ゆりのき」も[公式 HP](#)で閲覧できます



TOPICS

- 教員インタビューリレー ● JWU 子育てサイエンス・ラボ メールマガジン【子育て topic】
- 第 25 回子育てサイエンス・カフェのお知らせ ● クリスマス親子参加イベント ● お知らせ

Interview



教員インタビュー リレー

Vol. 4

様々な教員の研究内容や、JWU 子育てサイエンス・ラボでの活動をご紹介します。



建築デザイン学部
建築デザイン学科
教授 平田 京子

「生活者の視点からみた防災・減災や地震後の復興、地域コミュニティの防災共助力強化」、「住民主体型の避難所運営」、「赤ちゃんとお母さんの妊産婦・乳児救護所運営」、「住宅の構造安全性」や「リスクコミュニケーション」、「防災教育」について、研究を行う。

Q.1 研究や専門について教えてください。

専門分野としては住居学、建築学、家政学にわたる広い範囲を研究しています。これまでのテーマとしては、「建築物の耐震安全性レベルに関するリスクコミュニケーション」でした。これは住宅の住まい手が地震等に対する住宅の安全性レベル設定について設計者とどう対話していけばよいか、日本の住宅で目標となる安全性レベルは社会的にどれくらいかを確率論を使って追求していました。現在は、防災分野に力を入れており、特に避難所を住民主体で運営すること・共助力の向上を文京区や茨城県の避難所で実現するための研究や、赤ちゃんとお母さんを守る避難所「妊産婦・乳児救護所」の事前計画や運営訓練を考えていて、学生と共に実践型の研究をしています。

Q.2 研究を始めたきっかけはなんですか。

本学の建築デザイン学科にいますので、災害が起こったときに、住民が多数集まる避難所は「被災者にとって第二の住まいになる」ということに気づきました。住居学の知見を生かして、家を失った被災者にとって少しでも安心できるみんなの住まいをつくりたいと思いました。避難所は住民の砦になる可能性があり、そして物資や情報拠点ともなります。そして災害の被災者から話を伺うたびに、共助という見えない絆を追求していきたいという思いが強くなりました。その軸として、「避難所でだれの命もなくしたくない」という気持ちがあります。

Q.3 ご自身の研究が、実際の子育てや教育、社会の中でどのように活かされることを期待しますか。

避難所をテーマとすることは、インハウス型の研究ではなく、社会と直接つながっている、実践的で、市民と近い目線でいることになります。そして避難所という建築空間を考えるだけでは解決しなくて、人と人の絆やネットワーク、ボランティアな助け合いの力を駆使することが重要だったりします。そうした市民目線からのボトムアップ型発想、データに裏付けられた成果を出すことをめざしていて、社会の中でたとえば日本の防災方針を決めたり、社会の仕組みをつくるなど、いろいろ大きなことを決めるときに、市民や社会という存在を理解しての方針決定や制度構築が特に今、求められてきているので、そこを支援したいなと感じています。

Q.4 「子育て」に関わる方々へメッセージをお願いします。

「子育て」は今、社会の中で大注目のキーワードです。次世代の社会をどうするか、子育てしやすい住まいなどが今、問われています。次世代の若者が夢を見られる社会を、美しいままで残すことが大切と考えています。特に避難所研究を通して、次の世代に、誰かを救う勇者になってもらいたいと考えています。一緒に今から考えていきませんか？



次回は理学部化学生命科学科 湊谷 正俊准教授をご紹介します。



JWU 子育てサイエンス・ラボでは、毎月 15 日ごろに、子育て情報会員の皆さまにメールマガジンを発行し、子育てサイエンス・カフェをはじめとするイベントのご案内や、子育てに関わる方にとって参考となる情報【子育て topic】をお届けしています。【子育て topic】は、本学の様々な学科の教員が執筆しており、それぞれの専門分野で子育てにおいてヒントとなる情報をご提供しています。総合大学である本学の学際性を活かした多岐に渡る【子育て topic】。今までにお届けした情報を一覧でご紹介します。

JWU 子育てサイエンス・ラボ メールマガジン【子育て topic】一覧

発行月	<タイトル>	学科	執筆教員
2021年 12月	topic1 遊べる道を日本でも！	住居学科	葉袋 奈美子
2022年 1月	topic2 キッズ・イン・ザ・キッチン	家政経済学科	高増 雅子
2月	topic3 安心感の輪	心理学科	塩崎 尚美
3月	topic4 マスク生活とこども	心理学科	麦谷 綾子
4月	topic5 NP (Nobody's Perfect) プログラム	児童学科	安藤 朗子
5月	topic6 子どもと一緒に防災！非常用持ち出し袋を親子でつくってみよう	住居学科	平田 京子
6月	topic7 赤ちゃんの視力はどれくらいですか？	心理学科	金沢 創
7月	topic8 「子どもと一緒におうちごはん！」季節の野菜や果物をとりいれて、お皿の上でアートを楽しむ感覚で食事を楽しみましょう！	食物学科	鈴木 礼子
10月	topic9 秋の夜長に「読み聞かせ」	英文学科	佐藤 和哉
11月	topic10 秋は、ダニ対策と適切なスキンケアを。	化学生命科学科	市川 さおり
12月	topic11 子どもと地球儀・デジタル地図	教育学科	田部 俊充
2023年 2月	topic12 子どもの病気のわかりやすいサイン「体温」の測りかた	児童学科	平田 倫生
5月	topic13 100 年前の「仕事と家庭の両立」問題	教育学科	齋藤 慶子
6月	topic14 NHK ラジオ「みんなの子育て☆深夜便」をご存知ですか？	児童学科	今田 由香
7月	topic15 ～適度な汗かき体験を～ エアコンの賢い選び方・使い方～	住居学科	細井 昭憲
9月	topic16 どうしてオバケを信じるの？	心理学科	石井 辰典
10月	topic17 体力の基礎は就学前につくられる？！	児童学科	澤田 美砂子
11月	topic18 英語学習と子どもの未来	英文学科	早野 薫
12月	topic19 お父さんの育児休業	家政経済学科	中山 真緒
2024年 2月	topic20 デジタル時代の新たな羅針盤：子供たちのためのデジタル・シティズンシップ教育	教育学科	榎本 聡
3月	topic21 子育ての疲れに？ ゆっくり呼吸とリラックス	心理学科	川崎 直樹
5月	topic22 半里親活動	社会福祉学科	林 浩康
7月	topic23 ボローニャ国際絵本原画展	児童学科	和田 直人
9月	topic24 キッチンのある保育室 一保育者のための設えー	建築デザイン学科	井本 佐保里
10月	topic25 心のバリアフリーを目指して	建築デザイン学科	佐藤 克志
11月	topic26 玄関ポーチの古代ギリシア	建築デザイン学科	片山 伸也
12月	topic27 心地よいわすらわしさ	建築デザイン学科	是澤 紀子

※所属学科は執筆当時の学科名となります。

2025年 2月	topic28 災害時に赤ちゃん和妈妈を守るには —日本女子大学妊産婦・乳児救護所は暗闇からスタートするんです	建築デザイン学科	平田 京子
3月	topic29 社会を変える人を育てる住教育	建築デザイン学科	葉袋 奈美子
5月	topic30 アンダンテとフェルマータ	児童学科	根津 知佳子
6月	topic31 子どもの体力を考える—「体力」とは?—	現代社会学科	大沼 義彦
7月	topic32 チャイルド・レジスタンス包装 マイナスの利便性で子どもたちを守る	食科学科	北澤 裕明
9月	topic33 英語学習をこどもの日常に取り入れてみよう!	英文学科	土屋 智子
10月	topic34 日本古来の対話の工夫	心理学科	青木 みのり
11月	topic35 世代間交流を進めるために	社会福祉学科	黒岩 亮子

※所属学科は執筆当時の学科名となります。

JWU 子育てサイエンス・ラボ メールマガジンは 2021 年 10 月に創刊し、【子育て topic】は 12 月発行の第 3 号より開始しました。今回は、巻頭の「教員インタビューリレーVol.4」に登場の平田京子教授（住居学科※現・建築デザイン学科）による【子育て topic6】（2022 年 5 月発行）をご紹介します!

JWU 子育てサイエンス・ラボ メールマガジン第 8 号(2022 年 5 月 23 日発行)【子育て topic】

【子育て topic6】子どもと一緒に防災！非常用持ち出し袋を親子でつくってみよう

家政学部住居学科※ 教授 平田 京子
(※現：建築デザイン学部建築デザイン学科)

コロナ禍で家族でキャンプ、車で出かけてアウトドア生活をするご家族が増えているということです。キャンプやアウトドア生活を経験すると、実は非常時の体験と重なってきます。お子さんと一緒に「防災にも使える生活の工夫」を楽しんでみてはいかがでしょうか。たとえば電気や水道がない野外でのクッキングでおいしいものをつくる、たき火をするという経験で安全策を学ぶ、トイレを工夫してみるなど。

車で行くときあまり重量が気になりませんが、災害時には 1 人が背負える非常持ち出し袋の重量は大切な問題。あなたは何を非常用持ち出し袋につめて乗り切りますか？
お子さんとそれぞれリュックの中に何を詰めかを考えて、実際にやってみると、お互いの個性や重さがわかっておすすめです。



住居をはじめとする建築物の防災論、住居と生活環境の安全性などを専門とする平田京子教授ならではのお話でした。自身の教育活動を、『「教え授ける」というより、学生や市民から学んだものをアウトプットしている』と話す平田教授ですが、このたび、2026 年 3 月に『第 26 回子育てサイエンス・カフェ』に講師としてお迎えします。『みんなの避難所教室』と題し、「防災」をテーマに参加者ご来校型での開催となります。詳細はメールマガジンでお知らせいたします。
JWU 子育てサイエンス・ラボ メールマガジンでは、今後も【子育て topic】をはじめ、イベントのお知らせなど、子育てに関わる皆さまのお役に立てる情報をお届けしてまいります。



JWU 子育てサイエンス・ラボ
メールマガジンのご登録はこちら ▶



社会連携教育センター・社会福祉学科地域福祉ゼミ 共催

ご来校型
イベント

【クリスマスイベント】あつまれ!!さんた村 ～一緒につくるクリスマス～



さんた村での、多世代交流
(親子・地域の人、学生)
を通して
クリスマスを楽しもう!

日本女子大学社会連携教育センター

あつまれ!!さんた村
～一緒につくるクリスマス～

日時★
2025年12月6日(土) 13時半～15時半

場所★
日本女子大学120年館地下1階「JWUチング・ホップかえで」

対象★小学生以下のお子様と保護者様
近隣にお住まいの方(先着40名)

ゲーム
カーリングでオーナメント
をゲットしよう

工作
工作1
四大好きなあの人に
世界で一つだけのクリスマスカード
を作ろう!

工作2
ほぼくりのミニツリーを作ろう!

ポッチャ
★さんた村名物★
クリスマスポッチャ大会

★スペシャルコーナー★
「みんなで完結させよう!クリスマスツリー」

参加費無料
お申し込みはこちらからお申し込みします。

みなさまの参加をお待ちしております。
サンタさんからのプレゼントもご用意しています。
手揉みで気遣い遊びに来てくださいな。

主催
日本女子大学社会連携教育センター
社会福祉学科地域福祉ゼミ

日本女子大学で、本学の学生と地域の方と交流しませんか。
みんなでゲームや工作、ポッチャなどで遊んで、自分たちのクリスマス
を一緒に作りましょう!

- 日時● 2025年12月6日(土) 13:30～15:30
- 会場● 日本女子大学 目白キャンパス
- 対象● 小学生以下のお子様と保護者様
近隣にお住まいの方
先着40名(※定員に達し次第締切となります。)

●申込み●
QRコードからお申込みください。



昨年度の様子

●詳細●
チラシをご参照ください。



第25回 子育てサイエンス・カフェ



親も子も安心できる、心の距離を大切にしたいコミュニケーションとは?

大切にしたい家族の会話



フィンランド発

「対話実践」に学ぶ、コミュニケーションのヒント

フィンランド発の「対話実践」を例に、互いの距離感を尊重しながら、思いを受け取り、届けるためのヒントと
なるような、一つの工夫についてご紹介し、一緒に考えたいと思います。

講師

日本女子大学人間社会学部心理学科 教授 青木 みのり

日時

2025年 11/22(土)
10:30～12:00

Zoomによるオンライン開催です。
ご自宅からお気軽にご参加ください。
※カメラのON・OFFはご自由に設定ください。

申込み

QRコード または URL からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/XHieXMR3cy>

お申込み受付後、Zoom 詳細情報をメールにてお送りいたします。

●どなたでもご参加いただけます。 ●参加費無料

▼申込み

